

基礎看護学Ⅳ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 まゆみ 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

対象の看護ニーズに適した看護を展開するための基盤となる看護過程について学ぶ。看護の実践を支える多くの理論がある。それぞれの看護理論はどのように看護の対象を捉え、看護そのものを捉えているのか、紐解いていく。そこから看護のアセスメントの視点を見出し、看護ニーズの査定方法の立案、実施および評価の過程にそって看護を論理的に進める方法を理解する。

・教育成果（アウトカム）

看護の実践を支える多くの理論があるが、その理論から導き出される看護の視点を理解できる。対象の状況や各看護領域によって、アセスメントの優先度も異なることから、事例でのグループワークを通して看護過程を展開し、看護過程と看護理論の関係について説明できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5

・到達目標（SBO）

1. 根拠に基づいた看護を提供することの必要性を説明できる。
2. 主要な看護理論について説明できる。
3. 看護を展開する際に、理論や概念を活用する意義と方法について説明できる。
4. 看護に必要な根拠を探索し、看護実践に活用できる。
5. 看護過程について理解し、実践に活用できる。
6. 看護記録の目的と法的意義について説明できる。

・授業日程

(矢) 東 2-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
10/19	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護の対象と理論 ・看護理論の変遷について、そのポイントをあげることができる。
10/23	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護学概論で学んだ看護の実践を支える理論の復習① (人間の基本的ニーズと看護論) ・人間の基本的ニーズから捉える看護についてポイントをあげることができる。
10/26	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護学概論で学んだ看護の実践を支える理論の復習② (成長発達に関する看護論) ・患者 - 看護師関係の成長発達から捉える看護についてポイントをあげることができる。
10/30	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	セルフケアを中心とする看護論、対象の強み ・セルフケアの視点から捉える看護についてポイントをあげることができる。
11/2	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	ストレス・対処・適応を視点とする看護論 ・ストレス・対処・適応の視点から捉える看護についてポイントをあげることができる。
11/9	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	家族看護の理論 ・家族支援のための家族の捉え方を看護の視点からあげることができる。
11/13	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護理論を実践にどう生かすか ・前回までの看護理論と看護実践との関連を述べることができる。

11/16	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護過程の展開の基本① ・実践の方法としての看護過程の段階、とくにアセスメント・看護上の問題・強みの意味について説明することができる。
11/27	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護過程の展開の基本② ・看護過程の段階について簡単な紙上事例で説明できる。
11/30	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	看護記録とは ・看護記録の目的・意義、法的規定について説明することができる。
12/4	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	自分の健康を取り上げ、青年期の特徴を踏まえた看護過程の展開について学ぶ ・自分自身・家族の健康をアセスメントし、看護過程の展開ができる。
12/7	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	具体的事例を取り上げ、看護過程の展開について学ぶ① ・グループワークで複数の看護上の問題・強みを見出すことができる。 ・次週のグループワークとして看護過程をまとめるにあたり自分の課題は何かを明確にできる。
12/14	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	具体的事例を取り上げ、看護過程の展開について学ぶ② ・学修してきた内容と他者の学修内容とを比較検討しながら、グループとしてまとめることができる。
12/21	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	具体的事例を取り上げ、看護過程の展開について学ぶ③ ・グループとして見出された看護上の問題の中から一つを選び個人としてその看護上の問題・強みの看護過程を展開する道筋を見出すことができる。
1/4	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 まゆみ 教授	事例に基づく看護過程のまとめ ・個人ワークにて、事例の看護過程を完成させることができる。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学概論 第3版	佐藤登美編集	メヂカルフレンド社	2013
教	基礎看護技術Ⅰ 第4版	深井喜代子編集	メヂカルフレンド社	2014

・成績評価方法

定期試験 60 点、授業内で課すレポート 10 点、グループでのディスカッション状況・成果の発表 10 点
個人ワーク課題 20 点の合計 100 点とする。

・特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、教科書で予習した上で授業に臨むこと。看護過程のグループワークの事前学修においては、同時期に履修する解剖学・生理学・病理学の復習を丁寧に行うこと。グループワークの場合、各自が事前学修を実施していることを前提にすすめるので、必ず自己学修を踏まえた考えを記録して臨み、有効なディスカッションをすること。各授業について、最低 30 分の事前学修を要します。

授業終了後は、ノートと教科書・配付資料等を用いて積極的に自己学修を行い、知識と理解の定着に努めること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業内で課すレポートは、次回の授業で解説する。グループでのディスカッション状況・成果については、事前に学生に配布する評価表に基づき評価し、個人ワーク課題は、適宜コメントを付して返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅰ 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FHZ55）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影